



414
A 263
261



四月三日午迄之可廿分長出葉
 岩倉大少之殿 里田軍一
 甚ノ原殿所及小川サバカニ松橋至
 教ノ而ノ冬野屋夜休我ニ兵士
 賊ノ巢穴川底ニ接ニ在守死傷アリ
 陣ニ一大車ノ揚喧車急後信軍砲
 隊トリ着立ラシ度又別府邊見お人



唐の海に舟をりて千五百の兵を帯りて我
背後に舟をりて碇を繋ぎて舟をりて
海口に植木等をして今不拔城へ運送
え通せしむるは是非此の如し運送の取
れ他なし故に兵を廻さるゝ運送の船
不とせば外國の船を雇ひ入る可なり